

サービスの実施 ヒアリングシート（特養VOL.1）

（書類を提示してもらうなど具体例に確認すること）

6_4_1

① ケアプランに沿った支援の提供

- ケアプランは、円滑に各種のサービス提供が提供できるように分かりやすい内容になっている。
- ケアプランに沿った支援がなされているかを確認するために、定期的にモニタリングを実施し、達成度、進捗状況、満足度を確認している。
- サービス提供に関係する職員が、ケアプランをいつでもいつでも閲覧できるようにしている。
- ケアプランに沿った支援が提供されているかを確認するために、ケアプランと各種介護記録をリンクさせている。
- 他職種が出席するケアカンファレンスやケース会議を定期的開催して、見直している。
- 利用者の出席のもとにカンファレンスやケース会議を開催している。

6_4_2

① 栄養改善への取り組み

- 利用者一人ひとりには適切に食事摂取できるように各種の食事形態を用意している。
- 利用開始には、アセスメント、医療情報、実際の喫食状況などを把握して、適切に食事摂取できるようにしている。
- 心身状態の低下などによって、予定していた食事形態で喫食できなかった場合には、適宜食事形態を変更できるようにしている。
- 定期的なモニタリングやスクリーニングをもとに、利用者一人ひとりの栄養ケア計画を作成している。
- 栄養ケア計画によって、現在、低リスク者名、中リスク者名、高リスク者名になっている。
- 経口摂取を継続させるために、経口内チェック、義歯の調整、嚥下機能のチェックなどを歯科医、歯科衛生士、医師、看護師などの専門職と連携して実施している。
- 経口摂取が困難になった際には、専門職と連携して改善に取り組んでいる。

6_4_3

① 食事を楽しんでもらえるようにしている

- 食事に関する嗜好調査を定期的に行い、利用者の意向や要望を把握している。
- 行事食、誕生日食、歳時記にちなんだ各種のイベント食などを、計画に沿って提供している。
- 規則正しい日常生活を過ごしてもらうことを目的に、朝・昼・夕の各食事時間は、一定の時間としている。
- 様々な状況によって各食事時間を変更できるようにしている。
- 食堂のテーブルや席次は、心身状況や人間関係によって決定している。
- テーブル配膳、早めの配膳と遅めの配膳など、配膳移管する仕組みを設けている。

6_4_4

① 入浴支援

- 個別支援を実施するために各種の浴槽を用意している。
- 入浴方法（洗身、洗髪、浴槽槽の決定）は、カンファレンスなどによって、心身状況に沿って決定している。
- 入浴方法を変更した際には、利用者や家族の同意を得ているか？（電話連絡）
- できる限り残存機能を配慮した入浴支援に取り組んでいる。
- 入浴の順番は、利用者や家族の意向を把握して決定している。（感染症利用者の順番は）
- 浴室前で、ウエイティング行列ができないように取り組んでいる。
- 脱衣場や浴室内では、肌をできる限り露出しないように、プライバシーに配慮している。

- 認知症や拒否の利用者に対しては、時間帯や担当者を別に取り決め入浴介助を行っている。
- 浴室・脱衣室の定期的な清掃、ゆず湯や菖蒲湯、個別のシャンプーやリンス、ボディソープなどによって、入浴を楽しんでもらえるようにしている。

6_4_5

①排泄支援

- アセスメントやモニタリングをもとに利用者一人ひとりの排泄状況を把握している。
- 日々の排泄状況を把握し、より自立した排泄支援を提供するために、個別の排泄記録を設けている。
- 排泄記録は自立支援につながるように、詳しい内容が記載で切るようにしている。
- 各種の排泄用品を要して自立支援につなげている。
- リハビリやオムツ使用者に対してもトイレ誘導を行っているか。
- 自然な排泄を促すために、運動量・食事内容・下剤の抑制・排泄リズムなどを把握している。
- 排泄支援に関する定期的な研修を実施して、スキルアップに取り組んでいる。
- 手すり・段差解消・ドアからカーテンなどを設置して、排泄に関する安全性の確保に取り組んでいる。
- 職員による定時清掃や外部業者を使って、清潔な排泄環境の維持に取り組んでいる。

6_4_6

①移動支援

- 移動方法（車椅子や歩行器）は、利用者・家族・機能訓練指導員などの意見を把握して決定している。
- 移動方法を変更するときは、ケアカンファレンスや個別機能訓練計画の見直し時期など、多職種が連携して実施している。
- できる限り自立した移動が行えるように、個別機能訓練計画に「移動支援」を明示している。
- 移動・移乗・車椅子操作などが安全に行えるように、段差解消・狭い個所への取り組み・スキルアップ研修などに取り組んでいる。
- シーティングやポジショニングなどを、共有するための仕組みを設けている。
- 車椅子などの定期点検や清掃を行って、安心して安全に使えるようにしている。

6_4_7

①個別機能訓練計画

- ケアプランの主旨のもと、利用者に分かりやすい具体的な目標を明示した個別機能訓練計画を作成し、利用者や家族に説明し同意を得ている。
- 個別機能訓練計画は3ヶ月毎に作成し、モニタリングと評価を行い「次の計画」が策定されているその都度、利用者や家族の確認を得ている。
- 個別機能訓練は、日々の生活場面で生かすことができるような計画になっている。
- 日々の生活・レクリエーション・趣味活動などの場を設け、日常生活の中で機能訓練を実施している。
- 機能訓練指導員は介護職員と連携して、楽しみながら機能訓練が行えるようにしている。
- 機能訓練指導員と関係職員は、定期的な会議において連携する仕組みを設けている。
- 福祉用具（移動器具を除く）は、定期的に点検を行っている。（記録はある）

6_4_8

①健康管理

- 定期健診をはじめ、配置医（内科・精神科）歯科・歯科衛生士などの定期的な来訪によって健康管理に取り組んでいる。
- 医師が訪問した時は、看護師からの情報提供のもと利用者と直接面談し健康相談を行っている。
- 看護師は配置医の指導の下に、各種の措置を実施している。
- 調剤薬局から定期的に搬入された常用薬は、受け渡し時に看護師が確認している。

- 看護師は医務室内において日々配薬し、医務室から搬出するのは受け取り責任者を設けている。
- 服薬確認は看護師かまたは介護職員が行い、記録している。（記録方法）
- 誤薬の報告事例を事業報告書に掲示して改善に取り組んでいる
- 口腔状態を把握することを目的に記録を設け、具体的な改善に取り組んでいる。
- 職員の口腔ケアのスキルアップのために研修を行っている。
- 心身状況の変化に対応するために看護職は日頃から看護記録を設けている。
- 緊急対応マニュアルは、昼間・夜間・休日・看護師不在などは、個別に取り決めている。
- ターミナルケア（看取り介護）を実施（準備）している。
- ターミナルケアを円滑に実施するために、計画書の作成、カンファレンスの開催、研修の実施などに取り組んでいる。

6_4_9

① 整容支援

- 更衣に関する支援の基本的な考え方は明示して、日々、寝間着と普段着を着替える支援を確実にしている。
- 日々、起床就寝時に更衣支援を行う利用者と行わない利用者を分かりやすく分類している。
- 日々、更衣支援を行っていない利用者に対しては、家族や利用者の希望を把握して、アセスメントなどに明記してある。
- 洗面・整髪・歯磨きなどは、利用者の心身状況によって起床時と就寝時に行っている。
- 理美容を定期的に受けられる仕組みが整っている。

② 安定した睡眠

- 安定した睡眠をとれるように、騒音・明かり・温度・湿度・臭いなどに配慮している。
- 多床室での利用者間の関係にも配慮している。
- 離床小センサー・徘徊探知機などを使用して安全確保に取り組んでいる。
- 夜間の巡回によって、安定した睡眠支援に取り組んでいる。
- 認知症の利用者との同室などで、他の利用者から苦情や部屋替えなどに対応している。

4_10

① 日常生活支援

- 施設での「生活に関する基本的なルール」を設けている。
- 利用者や家族には、書式で渡している。
- 喫煙や飲酒に関する基本的なルールを設けている。
- 各種のクラブ活動を定期的で開催し、参加を促している。
- 重度の利用者なども楽しむ機会は、用意されている。（喫茶店・映画会など）
- 認知症の利用者が落ち着けるように、環境や人間関係を配慮している。
- 特定の場所や馴染みの職員などが整備されている。
- 利用者毎に合った声かけや支援を行うために、アセスメントやケアプランに明示し職員間で共有している。